

第五学年桜組 社会科学学習指導案

単元 情報をいかすわたしたち

【本学級の児童の実態】	【本単元における内容】
<p>○これまでに、社会的事象について複数の事実を集め、人々の様々な取組を立場ごとに比較して、関連付けることができるようになってきている。</p> <p>○そこで、本単元では、大量の情報や情報通信技術の活用することで産業が変化していることと国民の生活を関連付けて、情報技術を活用する産業の役割を理解できるようになると考える。</p> <p>○本単元では、大量の情報や情報技術の活用が、国民の生活に及ぼす働きを様々な視点から見出す姿を目指し、社会的事象の意味を見抜くことができるようになる上でも意義深い。</p>	<p>○第5学年で、情報を伝える人々の学習で、放送や新聞などの産業は、国民生活に大きな影響を及ぼしていることを学習してきている。</p> <p>○本単元では、情報の種類、活用の仕方などに着目することで、聞き取り調査したり映像や新聞などの資料で調べて、大量の情報や通信技術の活用は、様々な産業を発展させ、国民生活を向上させていることを理解する。</p> <p>○このことは、中学校の地理的分野である「資源・エネルギーと産業」や公民的分野である「私たちが生きる現代社会」の学習へと発展していく。</p>

【本単元における教材について】

<p>○本単元においては、店で活用されているPOSシステムとキャッシュレス決済を教材として取り扱う。</p> <p>○キャッシュレス決済は、消費者が簡単に買い物ができる、情報が瞬時に大量に集まり、販売者がそれを活かして、新たなサービスを提供していて、双方の立場から生活の向上を追究できる教材である。</p> <p>○この教材は、社会的事象の本質を見出す子供の姿を目指す上で、子供達が生活の中で経験のある買い物の仕組みであり、具体的に話を聞いたり、変化を実感したりすることができるという価値がある。</p>
--

目標

<ol style="list-style-type: none"> 情報の種類や活用の仕方を聞き取り調査し調べ、図表にまとめたり、大量の情報や情報通信技術の活用は、産業を発展させ、国民生活を向上させていることを捉えたりすることができるようにする。 情報通信技術の活用を情報の種類や情報の活用の仕方に着目して、立場毎に取組を比較、関連付けて考えたり、判断したりして、販売業が国民生活に果たす役割を説明することができるようにする。 販売業と情報の関わりに関心をもち、意欲的に情報の種類や情報の活用の仕方によって国民の生活が、変化していることを話し合い、情報を見極め、判断し行動していくような態度を育てる。
--

計画（7時間）

<ol style="list-style-type: none"> 情報通信技術が活用される前後の様子を比較し、学習問題と見通しを立てさせる。————— 1 情報通信技術の活用の仕方について、資料で調べ、販売業の役割について捉えさせる。——— 5 (1) 見学、インタビュー ----- ① (2) 店の情報活用について ----- ① (3) 本部の情報活用 --① (4) キャッシュレス決済について① (5) 危険性への対策 --①本時 これからの生活の変化について話し合い、国民としての自覚をもたせる。————— 1
--

本単元で育成する「情報活用能力」

<p>社会科との関連について：教材との関連【資質・能力の関係】情報→教科</p> <p>【情報活用能力の重点】</p> <p>A 情報技術が悪用されると個人情報が出たり、お金が引き出されたりするという危険性があることをとらえることができるようにする。</p>

<p>【主眼1】</p> <p>キャッシュレス決済が増えているのは、情報が流出しないようなパスワード設定、データ更新の対策を協力して行うことで安全が守られ、利便性がよくなることを捉えることができるようにする。</p>	<p>【主眼2】</p> <p>キャッシュレス決済における不正利用の対策をはやさ、範囲、つながりに着目して関連付けて、関係図に表す活動を通して、今後の電子マネーの使い方について説明することができるようにする。</p>
--	--

本時学習過程

階	学習活動と予想される子供の反応	教師の具体的な支援						
導入	<p>1 キャッシュレス決済について前時まで調べたことを振り返り、利便性について話し合うめあてをつかむ。</p> <table border="1" data-bbox="220 322 970 501"> <tr> <td data-bbox="220 322 592 501"> 【キャッシュレス決済不正利用 2018年12月】 他者に利用されて、お金が使われる。 </td> <td data-bbox="592 322 970 501"> 【利用者数】 2018年12月 約20万人 ↓ 2020年1月 約2300万人 </td> </tr> </table> <p>なぜ、キャッシュレス決済は不正利用されたのに利用者が増えてきただろう。</p>	【キャッシュレス決済不正利用 2018年12月】 他者に利用されて、お金が使われる。	【利用者数】 2018年12月 約20万人 ↓ 2020年1月 約2300万人	<p>○事実のズレからめあてを意識させるために、不正利用があった事実と利用者数の変化のグラフを提示する。</p>				
【キャッシュレス決済不正利用 2018年12月】 他者に利用されて、お金が使われる。	【利用者数】 2018年12月 約20万人 ↓ 2020年1月 約2300万人							
展開	<p>2 キャッシュレス決済の不正利用に対する取組を調べ、対策をしたことで危険性を乗り越えた仕組みと働きについて話し合う。</p> <p>(1) 前時までの視点を振り返り、解決の見通しをもつ。</p> <p>・時間（瞬時） ・範囲（広域） ・つながり（相互）</p> <p>(2) キャッシュレス決済の不正利用を起こさせない取組を資料をもとに調べ、自分の考えをつくる。</p> <table border="1" data-bbox="225 931 954 1126"> <tr> <td data-bbox="225 931 464 1126"> 【未然防止】 ・パスワードの二重設定 ・本人確認通知 </td> <td data-bbox="464 931 715 1126"> 【相談窓口】 ・24時間対応 ・直接対応 </td> <td data-bbox="715 931 954 1126"> 【補償制度】 ・不正利用の場合は、全額補償 </td> </tr> </table> <p>不正利用をさせないための工夫をしている。</p> <p>(3) キャッシュレス決済の不正利用を克服するための仕組みと働きについて話し合う。</p> <div data-bbox="225 1283 959 1603"> <p>不正利用により、お金が使われる</p> <table border="1"> <tr> <td> キャンペーンチーム 正しい情報を各報道機関に報告 </td> <td> 営業チーム 正しい情報を使用者に伝える </td> <td> アプリ作成チーム 二重のパスワード設定に変える </td> </tr> </table> <p>協力して対策をする</p> <p>悪用されないように、安全に使えるシステムをつくっている</p> <p>販売者、消費者にとって安全に使える便利</p> </div> <p>危険に対しての安全に使えるように対策をしている。</p> <p>キャッシュレス決済が増えているのは、情報が漏れない対策を行い、不正利用ができないシステムがあり、販売者や消費者も安全に買い物ができ便利だからである。</p>	【未然防止】 ・パスワードの二重設定 ・本人確認通知	【相談窓口】 ・24時間対応 ・直接対応	【補償制度】 ・不正利用の場合は、全額補償	キャンペーンチーム 正しい情報を各報道機関に報告	営業チーム 正しい情報を使用者に伝える	アプリ作成チーム 二重のパスワード設定に変える	<p>○調べる視点を明確にさせるために、前時までに捉えたキャッシュレス決済のよさを提示する。</p> <p>○考えを根拠をもってつくるために、消費者、販売者の人々のインタビュー資料を提示する。</p> <p>○対策をとる難しさを捉えさせるために、原因追及までの過程を表した資料を提示する。</p>
【未然防止】 ・パスワードの二重設定 ・本人確認通知	【相談窓口】 ・24時間対応 ・直接対応	【補償制度】 ・不正利用の場合は、全額補償						
キャンペーンチーム 正しい情報を各報道機関に報告	営業チーム 正しい情報を使用者に伝える	アプリ作成チーム 二重のパスワード設定に変える						
終末	<p>3 本時学習を振り返り、これからの自分の行動について考える。</p> <table border="1" data-bbox="225 1921 970 2063"> <tr> <td data-bbox="225 1921 580 2063"> 電子マネーをこれからのように扱っていくか自分の行動を考える。 </td> <td data-bbox="580 1921 970 2063"> ・個人情報が入っているので、大事に扱う。 ・むやみに使わない。 </td> </tr> </table>	電子マネーをこれからのように扱っていくか自分の行動を考える。	・個人情報が入っているので、大事に扱う。 ・むやみに使わない。	<p>○これからの電子マネーを使う自分の行動を考えさせるために、ホワイトボードに行動を宣言する場を設定する。</p>				
電子マネーをこれからのように扱っていくか自分の行動を考える。	・個人情報が入っているので、大事に扱う。 ・むやみに使わない。							

本単元の構成

配時	学習活動と予想される子供の反応	教師の具体的な支援
45	<p>1 情報通信技術が活用される前と後の人々の様子を比較し、販売業の発展を調べる単元のめあてと見通しについて話し合う。</p> <p>(1) 情報通信技術が活用される前と後の人々の様子を比較し、学習問題をつくり、見通しをもつ。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>【1970年代の改札口】</p>  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>【現在の改札口】</p>  </div> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・昔と今では、改札口の様子が全く違うよ。 ・人の混み具合が違う。 ・他にも違いはないかな。 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>【コンビニエンスストア売り上げ変化】</p>  </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・コンビニの売り上げが増えている。 ・13年で売り上げは約1,5倍以上だ。 </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> <p>コンビニエンスストアでは、売り上げを上げるために、どのように情報通信技術を利用しているのだろう。</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>(予想)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンビニでは、ポイントがつくようになった。 ・何にしても時間がかからなくなってきている。 <p>(見通し)</p> <p>調べること：コンビニエンスストアでの情報活用の仕方 調べ方：店やおうちの人へのインタビュー、写真</p> </div>	<p>○情報通信技術が活用される前と後の人々の様子の違いを捉えさせるために、1970年代の駅の改札口と現在の改札口の写真を提示する。</p>
45	<p>2 コンビニエンスストアの情報通信技術の生かし方について調べ、国民の生活とのつながりを明らかにする。</p> <p>(1) コンビニエンスストアの現状を知るために、見学とインタビューを行い調べる。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>【現在のコンビニエンスストア】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チケットが買える設備 ・自動コーヒー機 ・POSシステム </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>【20年前のコンビニエンスストア】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売れた数を数える。 ・印刷機のみ ・店長が管理 </div> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・自動でできるものが多い。 ・20年前とは、全然違うんだね。 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> <p>現在のコンビニエンスストアは、20年前と比べて、お客さんのために、簡単にできるサービスや機械が増えている。</p> </div>	<p>○コンビニエンスストアの情報通信技術の活用の様子を捉えさせるために、20年前のコンビニエンスストアの状況を店長さんから話を聞く場を設定する。</p>

